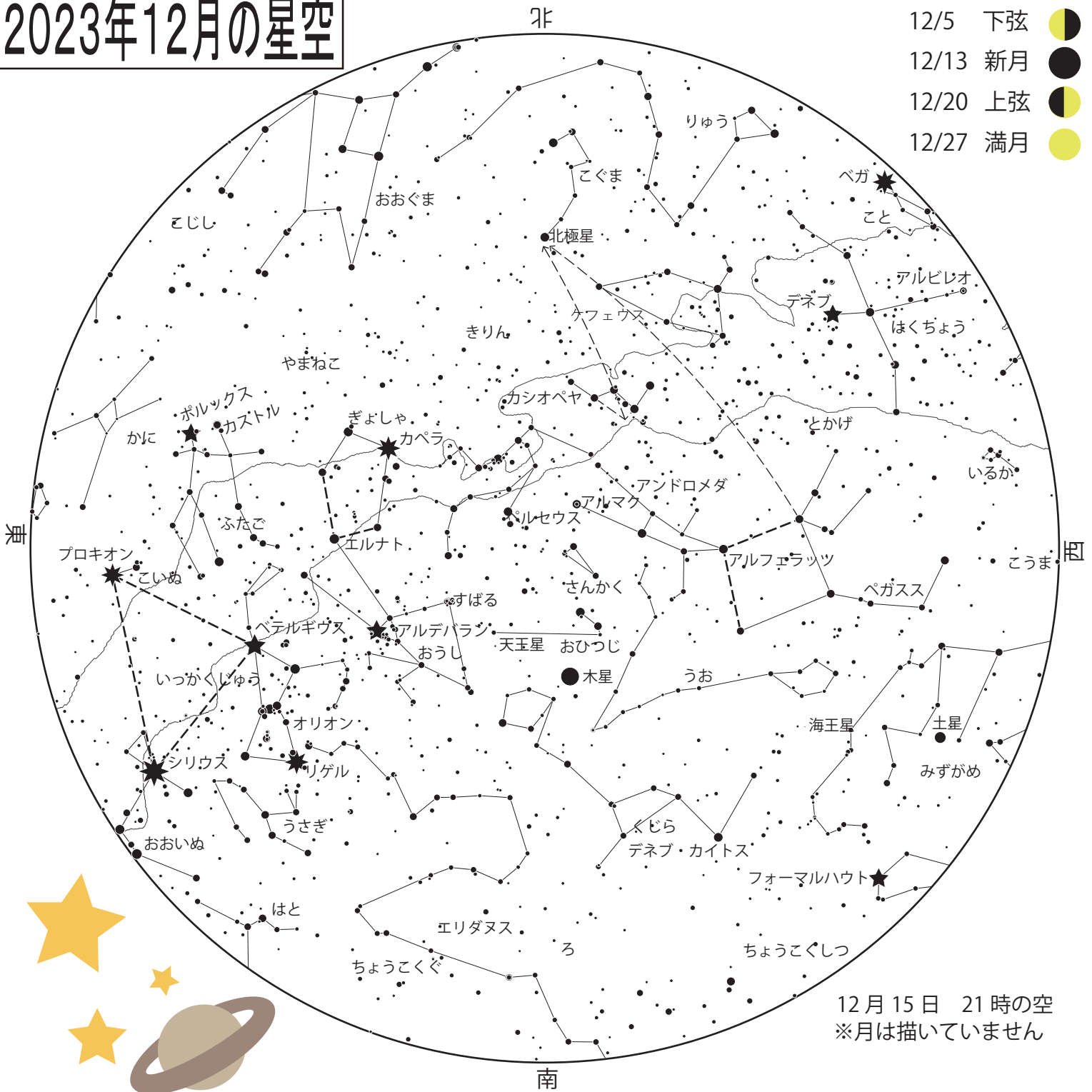


姫路で見る 2023年12月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 12/5 下弦 
- 12/13 新月 
- 12/20 上弦 
- 12/27 満月 



12月15日 21時の空
※月は描いていません

空高い所で明るい木星がひときわ目立ちます。惑星の間には他にも、西の方に土星が見えています。土星を望遠鏡で観察するなら今月中、夜早めの時間がおすすです。

西の空には秋の星座が見えています。目印となるのは天高く翔けるペガサスの胴体「秋の四辺形」や、W字の星の並びが特徴的な王妃・カシオペヤ座です。秋の四辺形やカシオペヤ座からは北極星を探すこともできます。

東の空にはにぎやかな冬の星座の星々がやってきます。リボンのような形をしたオリオン座、その後ろには2匹の犬たちがついてきます。より明るいほうがおおぐま座のシリウスで、もうひとつがこいぬ座のプロキオンです。シリウス、プロキオンとオリオン座のオレンジ色をした一等星ベテルギウスをつないであげれば「冬の大三角」になります。さらに見上げたところにはおうし座のすばるや赤く輝く1等星アルデバラン、北東の空にはぎよしゃ座の1等星カペラやふたご座のカストルとポルックスが輝いています。